

水稻病害虫発生調査結果

第1号 <7月15日発行>

兵庫県農業共済組合・たつの市・太子町

兵庫西農業協同組合・龍野農業改良普及センター

1 病害虫の発生状況

▶病害虫調査結果（調査月日：7月10日 調査ほ場：たつの市5ほ場 太子町1ほ場）

病害虫名	調査結果の概要
いもち病(葉いもち)	一部の圃場で発生が確認されました。
紋枯病	今回の調査では確認されませんでした。
縞葉枯病	今回の調査では確認されませんでした。
ウンカ類・ツマグロヨコバイ	セジロウンカ及びヒメトビウンカを確認しました。
カメムシ類	今回の調査では確認されませんでした。
イネカメムシ	一部の圃場で発生が確認されました。

【近畿地方向こう1か月(7月11日～8月10日)の天候の見通し】(大阪管区气象台発表)

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

- ・ 平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
- ・ 向こう1か月の平均気温は、高い確率が50%です。
- ・ 降水量はほぼ平年並でしょう。

2 害虫防除のポイント

(1) カメムシ類

本調査においても、一部の圃場で多数の発生が確認されました。

今後発生が増加することが予想されます。

以下の点に注意して防除を行ってください。

- ①畦畔や休耕田のイネ科雑草は、斑点米カメムシ類を誘引し、増殖源となるため、適切な除草管理を行ってください。
- ②斑点米カメムシ類の薬剤防除において、粒剤を施用する場合は、防除効果が得られるまでに日数がかかることを考慮してください。
- ③イネカメムシは他の斑点米カメムシ類と異なり、出穂直後から穂を加害して不稔穂を発生させるなど収量への影響が大きいため、出穂期に水田内で発生が見られる場合は薬剤防除を検討してください。
- ④イネカメムシについては、周辺より出穂が早い、または遅い水田では集中して被害を受けやすいため、適切な防除を行ってください。



イネカメムシ

(2) ジャンボタニシ（スクミリンゴガイ）

一部多発している圃場が見られます。

取水によって水路から水田に侵入し、初期育成期のやわらかい苗が食害にあいやすいため、「浅水管理」等の対策を講じてください。

農薬等は JA 兵庫西の 2026 年度水稻栽培暦を参考にしてください。